

2010年7月30日

**電通、第13回「アジア太平洋広告祭 (ADFEST 2010)」において、  
「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」を受賞  
イノーバ部門で「グランデ」、サイバー、デザイン、アウトドアの3部門で「ベスト」を受賞**

第13回「アジア太平洋広告祭 (ADFEST 2010)」の審査が7月20日から23日の4日間、東京で実施された。

同広告祭において、電通は前大会に引き続き2年連続で「インタラクティブ・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー」に輝いた。

また、電通が制作した「UNIQLO LUCKY SWITCH」(広告主：株式会社ユニクロ)が、イノーバ部門\*でグランデ(Grande)、サイバー部門でベスト(Best)を受賞した。また、電通制作の「Cutter Art of OLFA (広告主：オルファ株式会社)」はデザイン部門で、さらにGT Inc. (GT Tokyo)と電通が共同で制作した「Hills Post 2009 (広告主：郵便事業株式会社)」はアウトドア部門で、それぞれベストを受賞した。

これらに加え、電通グループは金賞2点、銀賞5点、銅賞7点、ロータス・ルーツ(Lotus Roots)\*\*1点を受賞した。

アドフェスト (ADFEST) は1998年に創設されたアジア最大の広告祭で、アジア広告協会連盟 (AFAA) の後援によって運営されており、世界でも権威ある広告賞のひとつとされている。

今年は、サイバー、デザイン、ダイレクト、フィルムクラフト、フィルム、ニューディレクター、アウトドア、ポスター、プレス、プリントクラフト、ラジオ、360、イノーバ、ロータス・ルーツの全14部門で、合計2,708作品のエントリーがあった。

\*イノーバ部門とは、革新的なアイデアやキャンペーン、作品を対象とした部門。グランデは同部門の最高賞である。

\*\*ロータス・ルーツ部門は、アジア各国の伝統文化や美意識に根差したクリエイティブを顕彰する部門で、同部門の賞は最高賞のグランデとそれに次ぐロータス・ルーツからなる。

電通が制作に関わった作品で、グランデおよびベストに輝いた作品の概要は次ページの通り。

**<受賞作品概要>**

**イノーバ部門 グランデ & サイバー部門 ベスト**

広告主：株式会社ユニクロ  
商品/サービス名：ユニクロ  
作品名：「UNIQLO LUCKY SWITCH」  
広告会社：株式会社 電通

**デザイン部門 ベスト**

広告主：オルファ株式会社  
商品/サービス名：オルファカッター  
作品名：「Cutter Art of OLFA」  
広告会社：株式会社 電通

**アウトドア部門 ベスト**

広告主：郵便事業株式会社  
商品/サービス名：年賀状  
作品名：「Hills Post 2009」  
広告会社：GT Inc./ 株式会社 電通

以 上